

=====

◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.17 ◇◆
2010年1月28日号

=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート
ー第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウムについて
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング
今月一番注目されたコンテンツとは・・・

◆◆◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート

皆さんこんにちは！

新たな年の幕開けから一か月が経とうとしています。
今年も「犯罪からの子どもの安全」メールマガジンをどうぞよろしく
お願いします。

この一か月が今年一年の行方を左右するという訳ではないのですが、
やっぱり幸先のいいスタートを切れると嬉しいものです。
皆さんの2010年の出だしは順調ですか？

領域から今年最初に皆さんにお届けするニュースは・・・
領域主催のシンポジウム開催決定！！のお知らせです。

タイトル：第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム
いざというとき なにが頼りか ー どう身を守り、どう助けるか ー
開催日：3月16日(火) 13:00~18:00
場所：時事通信ホール(東京都中央区)

ご興味・ご関心のある方はぜひ、ご予約いただけますと幸いです。
近々申し込みサイトを開設いたしますので、プログラム等の詳細情報も
そちらでご確認いただけます。申し込み開始の暁には改めてお知らせ
させていただきますので、今しばらくお待ちください。

この領域では、これまで毎年一回「犯罪からの子どもの安全」に
ついて考え、情報を共有する場として、シンポジウムを開催しています。
今年で3回目を迎える今回は、「犯罪からの子どもの安全に向けて子ども
たちの能力をどのように引き出し、子どもを守る大人の力をどう高める
のかをテーマに、講演とパネルディスカッションを実施します。

シンポジウム開催に当たり、企画やテーマの決定は、とても重要な
過程です。WEBサイトでアンケートも実施しましたので、レポートでは
その結果とともに、シンポジウムのプレ情報として、テーマ決定の経緯を
少しお伝えできればと思っています。ぜひご覧ください。

WEBアンケートについては、ただ今第2回を実施中です。
今回は「メールマガジンについて」です。

このメールマガジンも発行から一年以上がたちました。現在この
メルマガが継続しているのもひとえに読者の皆さんのおかげです。
今後もさらに多くの方に楽しんで読んでいただけるよう改善を図って
いきたいと思っております。

「内容をもっと充実せよ」「こんなテーマを取り上げてほしい」など
なんでも結構です。ぜひアンケートにご協力ください。

第2回アンケート → <http://www.anzen-kodomo.jp/mail/index.html#enquete>

さて、ここからは、プロジェクトの動向をお届けします。
「系統的な『防犯学習教材』研究開発・実践プロジェクト」では、
実証も兼ねて開発中の教材やシステムを活用した研修会を広島市で
開催したとのこと。こちらは昨年引き続き2回目の開催で、
地域の指導的立場の方に講義をしていただいているようです。

「子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発」
プロジェクトでは、関係者を集めた会議およびシステム開発を
協働している自治体や市民インストラクターなどプロジェクト関係者を
集めた中間報告会の開催を予定しているなど、着々と地域や現場との
連携を深めている模様。新たな動きがあり次第、メルマガやWEBサイトを
通して随時お知らせさせていただきます。

それでは最後までお楽しみください。



●第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウムについて

冒頭でもお伝えしましたように、この度、
「第3回『犯罪からの子どもの安全』シンポジウム
いざというとき なにが頼りかー どう身を守り、どう助けるかー」を

開催する運びとなりました。

テーマは、「犯罪からの子どもの安全に向けて、子どもたちの能力をどのように引き出し、子どもを守る大人の力をどう高めるのか」。

企画やテーマを考えるに当たって、今「犯罪からの子どもの安全」を考える上で大事なことは何なのか、社会のニーズはどこにあるのかを把握する必要があります。

というのも、シンポジウムは、現場で実際に子どもを守る取組を行っている方、この問題に関心のある方々に領域の活動を知っていただき、「犯罪からの子どもの安全」についての情報を共有することのできる大切な場である、と私たちは考えるからです。

企画を決定する上で、今回新たな試みとして、この問題に関心のある方々の声もぜひお聞きしたい、ということで、WEBアンケートを実施しました。

実施期間は、2009年10月～12月の2か月間で、様々な方から大変参考になるご意見をいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。

シンポジウムで取り上げてほしいテーマとして、以下のようなご意見が寄せられました。

- ・ 犯罪から子どもを守るための家庭の役割
- ・ 防犯教育の普及・展開について
- ・ 地域コミュニティが活性化すると子どもの犯罪被害が減少するのか
- ・ ネットにおける「犯罪からの子どもの安全」
- ・ 加害者にならないために など

どれも「犯罪からの子どもの安全」を考える上で、重要な視点です。

他にも、情報通信機器を防犯の分野で普及させるためのビジネスモデルについてといった提案もあり、非常に幅広く興味深い結果となりました。

ここで得られた意見を11月末に行われた領域合宿で関係者に提示し、残り3年間のネットワーク構築に向けた企画を皆で考えるグループワークを実施。直近の企画として、本シンポジウムの企画についても意見を出し合いました。

そこでもさまざまな提案がなされ、議論はさらなる広がりを見せましたが、アンケートにもあり、また複数のグループから共通して提案された「防犯教育」を取り上げる方向で議論が進みました。

防犯教育は、政府としても、一昨年に改定された「犯罪から子どもを守るための対策」で、学校における防犯教育の推進を掲げていますし、昨年、大阪教育大学附属池田小学校では全国で初めて「安全科」が設置され、防犯を含めた安全に関することが通年授業に取り入れられるなど、昨今注目されているものの一つです。

防犯教育というと、子どもの防犯能力を高めるための対策と思われがちですが、合宿での議論の結果、今回のシンポジウムではそれだけでなく、着眼点を少し広げたテーマにしようということになりました。

なぜ、そのようにしたかということ、子どもと大人、双方の力に着目すべきという意見があったからです。

例えば、「子ども自身が自分の身を守るための能力を高めることは重要である。」しかしながら、「子どもは未成熟な守るべき存在であるのは揺るぎない事実であり、防犯教育が大人の防犯活動に対する免罪符となってはならない」といった合わせ鏡的な意見もあり、どちらか一方についての考えのみでは有効な議論に発展しない可能性が示唆されました。

また、「子どもだけでなく、ボランティアや指導者として防犯に関わる人の育成も考える必要があり、子どもを取り巻く人の能力も合わせて高める必要がある」「教育関係の方のみの議論ではなく、犯罪から子どもを守る異なる立場や専門機関の人にも議論に加わってもらうほうがいい」といった意見に加え、「子ども、大人、組織といった個々の力だけではなく、それらをいかに地域の力につなげていくのかが重要」といったところに話しは発展。

大人、それも、様々な立場の人たちの力を相互に高め合うための議論の必要性が浮かび上がりました。

そこで、個々の力についての課題や取組みについて4名のプロジェクト実施者が講演し、パネルディスカッションでは講演者に加えて、地域・まちづくりの視点を持った実施者を交えて議論を行うことに。

そのため、登壇者は、警察関係、教育関係、地域防犯活動に従事する方などバラエティに富んだ構成になりました。

こういった広がりのあるテーマを取り上げる際に実感するのが、当領域の関与者の幅広さです。まだ詳細をお伝えできず恐縮ですが、「犯罪からの子どもの安全」に関するさまざまな“力”を、どう育み発展、連携すべきかについて多様なアプローチで迫ります。

ぜひご期待ください。

2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

【更新情報】

●国の取組み

犯罪から子どもを守るための対策（改定）（内閣官房）

[概要]<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo/kettei/21gaiyou.pdf>

[本文]<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo/kettei/21honbun.pdf>

「子ども・若者育成支援推進法施行規則（案）」に対する意見募集について

【意見募集期間：1月15日～2月15日】（内閣府）

http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/working-team/k_1/gijishidai.html

第2回警察が設置する街頭防犯カメラシステムに関する研究会について

（警察庁）

[議事要旨]<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki8/2giji.pdf>

[資料：アンケート]<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki8/2enquete.pdf>

[資料1]http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki8/2shiryo_1.pdf

[資料2]http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki8/2shiryo_2.pdf

法務大臣記者会見要旨ー平成21年12月17日（取調べの可視化 他）（法務省）
<http://www.moj.go.jp/kaiken/point/sp091217-01.html>

平成20年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
（小中不登校の確定値等）の公表について（文部科学省）
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/12/1288459.htm

平成22年度「児童福祉週間」の標語について（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000003mgq.html>

その他の取組みについてはこちら
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

●イベント情報

平成22年2月6日 自治体学関東フォーラム in 和光 「地殻変動の地方自治」
～市民と共に新たな展望を拓く～
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jigaku/>

平成22年2月7日 （財）さわやか福祉財団「地域ささえあい研修会in武蔵境」
http://www.sawayakazaidan.or.jp/forum/100108_musasisakai.html

平成22年3月5日 大阪教育大学主催 アジア・太平洋学校安全推進フォーラム
<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~nmsc/>

平成22年3月12日 建築五会共催シンポジウム
「新たな建築・まちづくりに関わる制度と仕組みは
どうあるべきか」
<http://www.aij.or.jp/aijhomej.htm>

その他のイベントについてはこちら
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



【今月の見どころ】

今月の見どころはトピックスから、
「プロジェクト関係者インタビュー」です。

今回取材したのは、「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」
プロジェクトと協働している、北海道児童相談所、札幌市児童福祉総合
センター、札幌市精神保健福祉センターの皆さんです。

児童相談所や精神保健福祉センターについては、名前は聞いたことが
あっても実際にどのような業務を行っているのか、詳しくは分からない方も
多いのでは。今回のインタビューでは、先述のプロジェクトとの協働の様子
の他、皆さんの日々の業務やそこにかかる思いなども盛り込まれています。

厳しい現実と日々向き合っている皆さんですが、子どもたちへの思いが
ページ(5)

現れているような、優しいまなざしと語り口がとても印象的でした。

ぜひご覧ください。

プロジェクト関係者インタビュー
毎日が厳しい現実との戦い 少しでも子どもを救いたい
(北海道中央児童相談所、札幌市児童福祉相談センター 他)
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/col18.pdf>

3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

【アクセスランキング】

- ☆1位 プロジェクト実施者インタビュー 第7回
「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」プロジェクト
<http://anzen-kodomo.jp/pdf/20091125.pdf>
- 2位 第2回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム予稿集
<http://anzen-kodomo.jp/pdf/col04.pdf>
- 3位 イベント情報
<http://anzen-kodomo.jp/event/index.html>

「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

- ▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら
<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>
- ▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら
c-info@anzen-kodomo.jp

■発行日 2010年1月28日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域
領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>
社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>
